

子宮頸がん予防ワクチンの副反応報告件数

ワクチンの種類	A+C		B+D		A企業からの報告		B企業報告のうち医師が重篤と判断したもの※2		C医療機関からの報告※3		D医療機関報告のうち医師が重篤としたもの		接種回数※4
	件数	発生率※1	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	
子宮頸がん予防ワクチン(2剤合計)	2,259	253.9	501	56.3	855	96.1	308	34.6	1,404	157.8	193	21.7	8,896,449
サーバリックス 【平成21年12月発売～平成25年7月31日】※5	1,871	265.7	395	56.1	764	108.5	248	35.2	1,107	157.2	147	20.9	7,042,289
ガーダシル 【平成23年8月発売～平成25年7月31日】※5	388	209.3	106	57.2	91	49.1	60	32.4	297	160.2	46	24.8	1,854,160

※1 発生率は100万接種あたりの発生数

※2 副反応報告制度は、予防接種との因果関係の有無に関わらず、接種後に健康状況の変化をきたした症例を収集したもの

※3 接種回数については、製造販売業者の出荷量からの推計

※4 販売開始～平成25年3月末までのデータは平成25年6月14日開催の合同検討会のデータを使用した